

# GREEN RANGER NEWS

2024年10月号 Vol.364



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局  
〒989-0231  
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102  
URL <http://www.zao.org/>  
e-mail [mail@zao.org](mailto:mail@zao.org)

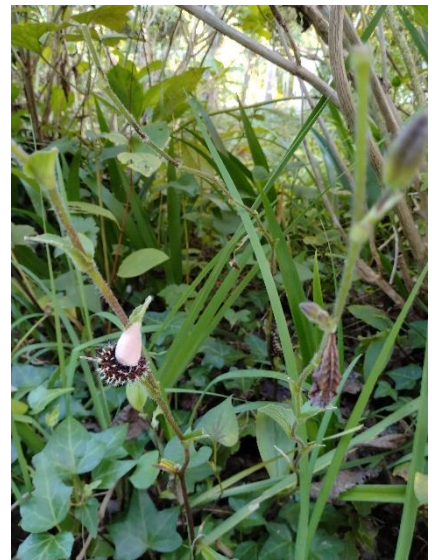
暑かった夏も終わり、朝晩が肌寒く感じるようになってきました。そろそろ暖房の準備を考えたいですね。最近我が家では、ホトギスの葉を食べるルリタテハの幼虫に話題が集中しています。1匹は既に蛹になって10日以上になり、羽化する瞬間に出会えたらとワクワクしながら見守っています。ただ残念なのがその他の終齢幼虫です。白い繭を抱いているように見えるのですが、それはタテハサムライコマユバチの繭であることが判明しました。この寄生蜂の幼虫はルリタテハの終齢幼虫の末期に体外に出て繭を作り、1匹の幼虫から150~200匹の寄生蜂が羽化するそうで、この寄生蜂の幼虫を宿したルリタテハの幼虫は蛹化できずに死亡するという事です。せめて蛹が無事に羽化してくれることを願うばかりです。



ルリタテハ幼虫



繭を抱いているように見える幼虫



右に見えるのが蛹

GR ニュース 10月号をお届けします。

## ■9月8日(日) リスの森散策、臨時理事会

今日の予定は白石スキー場の植生観察だったが、今にも雨が降りそうのため白石スキー場行きを取り止めて、リスの森の散策班と動物のカメラ班に分かれての活動となりました。

リスの森の散策では、ヤマハンノキの枯れ木を数本みつけ、倒したのものもありますが後日処理することにしました。熊の爪痕の観察、キノコ観察、ドングリ拾いをしました。葉付きのドングリも落ちていたので拾い後でネットで見たら、ハイイロチョッキリが落とすもので、中から虫が出てくるので持ち帰らない方がいいと書いてありました。虫の好きな人には良いのでは？ 動物のカメラ班は、最初に彩遊の森へ。広い駐車場は霧に包まれて、オミナエシやオトコエシ、ハギ、キヌガサギク、ノギクが咲き花畑と化していました。

その幻想的な風景に、しばし見とれてしまいました。設置していたカメラは、なんと電池が切れて撮影ができておらず、残念！

アナグマの森、リスの森のカメラは無事で、ほっとしました。

昼食後は、臨時の理事会を開催し、引っ越しによる事務所移転に同意しました。

午後は、久々に動物の動画鑑賞会。グリーンレンジャーニュース 8月号でお知らせした、ヤマグワの木に子熊が登ってじゃれ合う様子や、カメラの雨よけを咥えて立ち去るウリ坊の可愛い姿等をみんなで楽しみました。参加者:8名



アキアカネ:彩遊の森



クマのしわざ?:アナグマの森



ヤマボウシ:彩遊の森



オトコエシ:彩遊の森



オミナエシ:彩遊の森



自然観察:リスの森

■9月22日(日) 天候不良の為、中止

■今後の活動について

10月13日(日)10時

場所:作業小屋

活動内容:小鳥の森の笹刈り、自然観察(樹木の果実等)

10月27日(日)10時

場所:作業小屋

活動内容:小鳥の森の境界刈り、自然観察(樹木の果実等)

11月10日(日)10時

場所:作業小屋

活動内容:作業小屋・物置小屋の大掃除、理事会